



# 天橋立名松リバーズ だより

No.9  
2005年9月号

編集・発行  
天橋立名松リバーズ  
実行委員会事務局

〒026-00001  
東京都宮津市文珠437  
天橋立総合事業(株)内  
TEL 0772(22)53004  
FAX 0772(22)53005  
<http://www.tane.or.jp/re-birth/>

## 名松リバーズ

### チャリティコンサート開催

8月31日(水) 宮津会館 於

会場超満員(850余名)

感動的に盛り上がる!

ミュージシャン・来場者のみなさん!  
ありがとうございました。



能燈アート作品発表会 会場前於



開場1時間前から行列が...



挨拶(幾世委員長)



司会(細井副委員長)

待ちに待った「天橋立名松リバーズチャリティコンサート」が、8月31日(水)午後7時30分より宮津会館で開催されました。約2ヶ月間、多くのメンバーの方々の熱心なPRもあって、当日までに定員800人を越える900余名の方から予約をいただきました。当日朝10時から会場設営、名松リバーズ館から龍燈アートの作品搬入など、数多くのメンバーの方に汗していただいたお陰で、全て準備万端。お越しになる方々に迷惑混雑が生じないようにスタッフ一同、緊張感をもって開場を待ちました。開場一時間前から行列ができるなど人気は最高。入場者のご協力もいただき、スムーズに開会を迎えました。

舞台の両そでには倒木松のオブジェや、大文字五山の送り火で供養された松の炭が、よるこびの宴を見てください。

司会者 細井部会長による主旨説明、幾世委員長の挨拶のあと、いよいよコンサートの始まりです。

### 第一部 カムバック・フォレスト

第一部は、北海道からお越しの神山慶子さん(ヴォーカル)安齋亨さん(ピアノ)によるカムバック・フォレストです。

神山慶子さんによる「歌いつづけて」「愛は時を越えて」「ピートルズメドレー」「ルート66」「ジョージア・オン・マイ・マインド」



ヴォーカル 神山慶子さん

「サマータイム」のバラードの圧力的な歌唱力は、会場を魅了しました。



会場を魅了...



ピアノ 安齋亨さん

最後は、倉本聡 作詞、宇崎竜童 作曲による「カムバック・フォレスト」(森よ甦れ)です。この歌詞は、リバーズの精神にも通じます。神山さんから、名松リバーズへの心のこもったメッセージが語られた後、「カムバック・フォレスト」の熱唱です。この歌は会場内の全ての人の心を揺さぶりました。



開演前に超満員



神山さんのうた、場内を圧倒!

第一部終了後、北海道大学 中村総長からのメッセージが紹介されました。

北海道大学から  
天橋立名松リバー実行委員会へ

北海道大学総長 中村睦男さま



『北海道大学の貴重な歴史的・観光資産であるポプラ並木と天橋立の名松は、ともに昨年の台風による大きな被害を受けました。全国の皆様からのご支援により、再生への道のりを歩んでおります。名松リバーのみなさまは、北大のポプラ並木再生事業を参考にしておられることですが、むしろ北大が学ぶべき、地域の方々が一体となった素晴らしい活動をされていることに敬意を表します。双方の距離は離れていても、みなさまの応援を受けて「再生」を目指す同志として、心をひとつに今後とも交流が続くことを願っております。』

## 第二部 フラメンコ



ギター 尾藤大介さん



カンテ 有田圭輔さん

少し休憩をはさんで、いよいよ第二部開幕。  
東京から駆けつけていただいた宮津出身の尾藤大介さんたちによるフラメンコの登場です。  
ギター 尾藤大介さん、カンテ 有田圭輔さん、バイレ 稲田進さん、今枝友加さん、井山直子さん。日本のフラメンコ界で注目の的となっている新進気鋭の勢揃いです。  
激しく、切なく、愁いを秘めたフラメンコの世界は、一気に会場を魅了しました。フラメンコの皆さんの熱演に会場からも声がかかったり、又尾藤大介さんから名松リバーに對し、ふるさと愛あふれるメッセージもあり、ステージと会場内が一体となった熱気に包まれました。



バイレ 井山直子さん



バイレ 稲田 進さん



バイレ 今枝友加さん



情熱と愁いを秘めたフラメンコに人々もうっとり



ギターの尾藤大介さんもバイレを披露



フラメンコ終了後「国際ソロプチミスト宮津」のみなさんから、ミュージシャン全員に花束贈呈が行われました。最後は神山慶子さん指導による「カムバック・フォレスト」の全員合唱です。会場が割れんばかりの大合唱は、人と人の心を結びつけ、感動も最高潮となりました。時間を忘れ、終了した時は午後10時30分を越えていました。

感動をプレゼントしてくれたミュージシャンのみなさん、遅くまでおつき合いいただいた来場者のみなさん、本当にありがとうございました。

当日、深夜まで後かたづけに汗していたいただいた実行委員会のみなさん、お疲れさまでした。素晴らしいコンサートになって、本当によかったですね！



フィナーレは、「カムバック・フォレスト」をみんなで合唱！

コンサートの余韻…嬉しい反響が…

チャリティコンサートに参加し、感動された方が、翌朝ミュージシャンのお礼にと会いに来られました。ミュージシャンのみなさんも大変よろこんでおられました。又再会でき、交流できた方がいいですね！

又当日、会場に駆けつけていただいた西本都枝さん(作家)から、こんなお便りをいただきました。

『昨日はありがとうございました。コンサート、すばらしかったです。』

『生きる・生きていく・生きねばならない・生かさねばならない』…というフレーズがステージにあるような感じがしました。NHKでお話させていただいたと思いつながら、とにかく一度行ってから…と。見ないうちはなかなか話せませんでしたので、これでやっと話できます。ほんとにありがとうございました。』

九月二日

西本都枝

### 第10回 リバー入実行委員会開催



第10回 リバー入実行委員会 2005.8.25

8月31日のチャリティコンサートを目前に、第10回 実行委員会が、8月25日(木)午後7時30分よりKTR天橋立駅2Fで開かれ、コンサートを中心に松材の管理・活用について活発な意見を交わしました。

### サニーマイブ・リバー入チャリティジャズコンサートを開催



リバー入チャリティジャズコンサート (丹の風主催)智恩寺 於 2005.8.27

8月27日(土)夜「丹の風」主催のリバー入ジャズコンサートが開かれ、宿泊や地元の方約250人が参加されました。親子連れや若い方から「松の再生に頑張ってください」と励ましの声やリバー入基金にご協力いただきありがとうございました。サニーマイブがとうございりました。

### 松材の保管場所をゲット！

一括管理に向けてGO！

松材の管理部会(松井部会長)では、懸案だった松材の保管場所を、京都府のご理解・ご協力の下、乾燥させるには最適の地(宮津市喜多)を確保し、そちらへ一括管理する作業を着々と進めています。今後、松材が公共のため、又天橋立周辺の町づくりにも有効に活用されることを切に願っておりますが、チョットこれだけで安心です。今後は松の根この炭化作業が急がれます。



京都縦貫自動車道 高架下 (宮津市喜多)

### 倒木松に新しい命を吹き込もう…

各地(地元・京都市内・北海道置戸町)から

申し込み続々と！

倒木した天橋立の松を再生しようと、地元府中小学校に続いて、吉津小学校・岩滝小学校の育友会や、宮津高校建築科・魚屋町商店街・宮津商工会議所青年部、又京都市民の方や「船岡山 森の学校」(京都市北区)、遠くからは北海道置戸町「オケクラフトセンター 森林工芸館」から、松材の提供依頼を受けました。利用目的は、子どもの教材・地域の統一看板・記念時計・能面づくりなどいろいろですが、公共性のある目的を判断基準に提供しました。但し、個人目的の依頼は山ほどありますが、全て丁寧にお断りしています。

### 「天橋立名松リバー入の歩み」

(B4版)のチラシを作成しました。必要な方は、事務局へご一報ください。リバー入館にも置いてあります。



天橋立名松リバー入活動に関する新聞報道



# 松の立橋天 れえがみよ

宮津の住民ら中心に

京都新聞  
2005.9.3

天橋立の松はクロマツ 活動や作品展示の拠点と  
を中心約五千本。台風 なる「天橋立名松リバー  
23号では百九十三本が倒 ス館」をオープン。ステ  
れた。地元住民らが「天 ージやテーブル、内壁な  
橋立名松リバー実行委 どに松材を使い、木の香  
員会（幾世淳紀委員長） りあふれる憩いのスベ  
を結成。倒れた松を保存 スを整えた。  
して、活用法を探ること 同館では、薄くスライ  
にした。 スした松に、動植物など  
今年五月には、地元の の絵と詩を書いた絵手紙  
空き店舗を活用し、創作 や、動物の姿をかたどつ

昨年の台風23号で被害を受けた日本三景・天橋立の松をよみがえらしたい。熱い思いを胸に、宮津市文珠の住民らが倒れた松を使ったさまざまな作品の製作に励んでいる。松材の灯籠

コンテストを企画したり、専門学校と連携して造形物を創作したりと、活動は本格化。天橋立を愛する人たちの手で生まれ変わった松の姿を紹介する。  
(宮津支局 小野俊介)



天橋立龍燈アートコンテストでグランプリに選ばれた灯籠「昇竜之灯」

## 台風23号被害の倒木使い

### 灯籠コンテストや造形創作

たオブジェなどを展示。刻作品を同館に寄贈。今観光客らの創作スペース 後、文殊菩薩や観音像の製作にも取り組むといも設けている。  
取り組みは、地元以外 取り組んでいる。京都 地元の伝説に基づき、伝統工芸専門学校（園部 八月に実施した「天橋立」では、学生がフクロウ 立龍燈アートコンテストウヤコイをかたどった彫ト」では、地元に加え、



京都伝統工芸専門学校の学生が寄贈したフクロウやコイの彫刻作品

京阪神などからも力作の灯籠二十四点が寄せられた。グランプリに選ばれた「昇竜之灯」（高さ約一尺）は、龍のうろこや牙、鋭い目をリアルに描いた迫力ある彫刻作品。創作灯籠は地元のイベントなどで飾られ、天橋立再生へのシンボルとして輝きを放っている。

幾世委員長（左）は「たくさんの方が松再生に共感し、協力してくれて感謝している。松も喜んでくれているはず」と話す。年内には、天橋立の松を提供して、作品を一般公募する予定で、さらに活動の輪が広がることを期待している。



スライスした松材で作った絵手紙

香り立つ松の新しき木片  
山嵐の跡の激しさを、知る

タイムリー  
レポート  
05

「一般公募に向けて、9月9日・9月16日  
両日 創作部会 正副会開催」

8月6日〜7日に開催した「龍燈アートコンテ  
スト」も無事成功裡に終了し、今後は一般創作に  
向けての全国公募に入ります。「アート&クラフ  
トフェア実行委員会」と連携し、目下、全国応募  
に向けての案づくりにより一生懸命です。  
乞うご期待！

第11回 リバーズ実行委員会を  
9月20日(火) PM5時30分より  
開催します。

今回、初めて懇親会 (PM6時30分) を  
予定しています。

■ 会費3千円 ■ 天橋立ホテル 於

※できるだけ多くの方の参加を  
お待ちしております。

天橋立名松リバーズ基金  
ご協賛ありがとうございました

- ・木村健一さま (宮津市) 一万円
- ・祇園「彩雲」さま (京都市) 一万円
- ・「丹の風」チャリティコンサート  
(8/27 智恩寺 於) 一万三千二百円
- ・サニーファイブさま (宮津市) 二万円
- ・リバーズ館での募金箱より 一万四百七拾九円
- ・籠神社のリバーズ募金箱より 一万六千四百四拾八円

### 応援メッセージ

名松を蘇らす取り組みに感動しております。  
メンバー一同、趣旨に賛同し、少額ではありますが  
ですが、基金の一部としてご利用いただければ  
幸いです。今後も活動を期待しております。

平成十七年九月十七日

#### サニーファイブ

中村 甫さま  
木下 省三さま  
吉沢 肇さま  
向井 雅子さま  
吉沢 恵美子さま  
柴山 周さま

「日本三景展」(京都文化博物館 於)に  
名松リバーズコーナーを設置

中世の絵巻から近現代の日本画まで、作品約100点が  
一堂に会する初めての展覧会が、9月13日(火)から  
10月16日(日)まで、京都文化博物館(京都市中京区  
三条高倉)で、開催されています。  
天橋立名松リバーズ実行委員会にも協力要請があ  
り、名松リバーズ展示を期間中行ってあります。貴重  
な「三景展」ですので、是非、京都文化博物館に足を  
運んでください。



リバーズの歩みをパネル展示



中庭に龍燈アート作品展(一部)

### ●シンポジウム「日本三景の過去・現在・未来」

日時 平成17年9月23日(金・祝)

13時30分〜15時30分

会場 京都文化博物館 別館ホール  
司会/メインスピーカー

島尾 新氏 (多摩美術大学教授・  
本展企画構成アドバイザー)

パネリスト

伊藤 太氏 (京都府山城郷土資料館技師)

知念 理氏 (広島県立美術館主任学芸員)

長谷川成一氏 (弘前大学教授)

堀野宗俊氏 (瑞巖寺宝物館宝物学芸員)

※ 50音順

### ■編集後記■

8月31日開催した名松リバーズチャリティコンサ  
トは、定員800人を越える多くの方々にお越しい  
ただきました。ミュージシャンの熱演の下、感動的  
なコンサートとなりました。チケット販売をはじめ、  
実に多くの方々のご尽力ご協力のお陰と心より感謝  
申し上げます。

いよいよリバーズドラマも第2ステージとなりまし  
た。創作の一般公募・炭づくり・松材を活用した町  
づくりなど課題は山積みしています。

9月14日 当地にお越しいただいた京都府山田知事  
様から、リバーズに励ましのおことばをいただきました。  
多くの方々のおかげで、今  
後共リバーズ精神でガンバリましょう！